

# 「世界遺産 三内丸山遺跡 からみた縄文人のくらし」

講師：永嶋 豊 氏(三内丸山遺跡センター保存活用課長)

2月7日(土)13:30～15:00

令和3年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」。その中核をなす青森県の三内丸山遺跡。約5,900年前、陸奥湾に近い川沿いの丘で始まった人々の生活。海・川・森に育まれたこのムラは、津軽海峡を挟んだ地域を代表する拠点集落へと成長しました。この遺跡から北の縄文社会を覗いてみましょう！



三内丸山遺跡 全景  
(青森県教育委員会)  
出典:JOMON ARCHIVES

- 会 場:群馬県立歴史博物館 視聴覚室
- 定 員:140名
- 参 加 費:参加費無料、ただし第113回企画展観覧券が必要です。  
※当日以外の第113回企画展観覧券でもご参加いただけます。  
(第113回企画展観覧料(常設展も含む):一般1000円)
- 申込方法:1月7日(水)より、事前申込が必要です。
  - 当館HP・右QRコードから入力フォームへアクセス
  - 電話(027-346-5522(開館日の9:30～17:00))※申込はフォーム、電話とも講演会前日の17:00までとなります。  
(定員に達した場合は、早めに受付を終了することがあります。)  
※状況により、内容に変更を生じる場合があります。

講演会① 入力フォーム



群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町992-1(群馬の森内)  
TEL. 027(346)5522



ホームページ

